

先生各位

## 検査受託項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和 元年 5月 13日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	$\beta$ クロスラプス
検査コード	5792 (依頼・ $\mu\text{g/L}$ ) / 5793 ( $\mu\text{g}/\text{mmol}\cdot\text{CRE}$ )
JLAC10	5792 : 5C122-0000-001-023-01 5793 : 5C122-0000-001-023-28
診療行為コード	160174850
検体量	尿 (午前中第二尿) 1.0 mL
保存・容器	冷蔵・U1
実施料 (判断料)	169点 (生化II)
所要日数	事前にご確認ください
検査方法	ELISA法
判定基準	骨粗鬆症薬剤治療の指標 骨折リスクカットオフ値 : 301.4 骨量低下カットオフ値 : 184.1 $\mu\text{g}/\text{mmol}\cdot\text{CRE}$
最小報告値	100 $\mu\text{g/L}$ 以下

保険収載名称 : I型コラーゲン架橋C-テロペプチド- $\beta$ 異性体 ( $\beta$ -CTX) 尿

保険注釈 : 骨粗鬆症におけるホルモン補充療法及びビスフォスフォネート療法等、骨吸収抑制能を有する薬物療法の治療効果判定又は治療経過観察を行った場合に算定できる。ただし、治療開始前においては1回、その後は6月以内に1回に限り算定できる。

《解説》

I型コラーゲンのC末端テロペプチド領域の分解産物である $\beta$ -クロスラプス (CTX) は、骨吸収マーカーとして位置付けられています。

本検査は骨吸収抑制療法の治療効果判定および経過観察に有用で、骨粗鬆症におけるホルモン補充療法やビスホスホネート療法など、骨吸収抑制能を有する薬物療法の治療効果判定または治療経過観察に用います。